

令和6年度 第2回山梨県地域クラブ活動推進連絡会（概要）

1. 日時 : 令和6年11月16日（火）14時00分から16時30分
2. 場所 : 防災新館 409会議室
3. 参加者 :

No.	所 属	役 職	氏 名	備考
1	山梨学院大学 スポーツ科学部	教授	遠藤 俊郎	
2	山梨大学 大学院総合研究部教育学域人間科学系	教授	関口 浩文	
3	県小中学校校長会	中学部長	廣瀬 学	
4	県高等学校校長協会	会長	橘田 浩	山田 芳樹（代理）
5	県小中学校体育連盟	会長	戸田 徳和	
6	県PTA協議会	会長	清水 好美	
7	県スポーツ推進委員協議会	会長	飯田 忠子	
8	県スポーツ協会 スポーツ振興	課長	辻 昌彦	
9	県スポーツ指導者協議会	会長	渡邊 悟	
10	総合型地域スポーツクラブ協議会（SC山梨）	理事長	村松 久義	
11	地域スポーツクラブ代表者（VF甲府）	総合型担当	長田 圭介	
12	県吹奏楽連盟	理事長	仲田 太年	
13	昭和町教育委員会 生涯学習課	生涯スポーツ係長	深川 慶太	
14	県スポーツ振興課	課長	二宮 智浩	
15	県教育庁総務課 教育企画室	室長	岩出 修司	
16	県教育庁義務教育課	課長	小池 孝二	
17	県教育庁高校教育課	課長	渡邊 英裕	
18	県教育庁特別支援教育・児童生徒支援課	課長	玄間 修	
19	県教育庁保健体育課	課長	花輪 孝徳	
20	県教育庁保健体育課	総括コーディネーター	荻野 昭彦	

【オブザーバー】

21	甲府市教育委員会	コーディネーター	八代 浩	欠席
22	南アルプス市教育委員会	コーディネーター	鈴木 正一	欠席
23	昭和町教育委員会	コーディネーター	望月 一徳	
24	韮崎市教育委員会	コーディネーター	藤巻 明彦	
25	山梨市教育委員会	コーディネーター	中村 雅彦	欠席
26	甲州市教育委員会	コーディネーター	小宮山 茂樹	
27	都留市教育委員会	コーディネーター	跡部 洋二	欠席

【事務局】

28	県スポーツ振興課 主幹	事務局	米山 正仁	
29	県スポーツ振興課・生涯スポーツ担当 主幹	事務局	飯野 泰司	
30	文化振興・文化財課・文化芸術振興担当 課長補佐	事務局	渡辺 忠正	
31	文化振興・文化財課・文化芸術振興担当 主事	事務局	早川 雄貴	
32	県教育庁義務教育課・教育指導担当 指導主事	事務局	雨宮 光平	欠席
33	県教育庁保健体育課・課長補佐	事務局	相川 喜代弘	
34	県教育庁保健体育課・学校体育担当 課長補佐	事務局	平子 順一	
35	県教育庁保健体育課・学校体育担当 指導主事	事務局	渡辺 健太郎	
36	県教育庁保健体育課・学校体育担当 指導主事	事務局	田鹿 欣孝	

4. 内容

(1) 報告

① 第2回市町村担当者会の概要及び県の支援体制事業について

- ・第2回市町村担当者会の概要説明
- ※第1回県推進連絡会の概要説明
- ※第1回コーディネーター研修会の概要説明
- ※各市町村のロードマップ作成について
- ※各市町村の現状や課題の共有（グループディスカッション）
- ・県の支援体制事業について説明
- ※先進自治体視察について報告（千葉県柏市・長野県南佐久郡）
- ※模擬地域クラブ活動の実施について
- ※大学生指導員の養成・確保に関する実証事業について

② 各市町村の進捗状況について

- ・市町村の取組状況の報告
- ※協議会等の設置について
- ※市町村コーディネーターの配置について
- ※情報発信について
- ※地域スポーツクラブ活動への移行の取組実施について
- ※地域文化クラブ活動への移行の取組実施について

(2) 議事

① 「国の動向・県の方向性の周知」について

- ・「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」における、中間取りまとめ骨子（案）を参加者と共有。
- ・今後、国の方針・取組を受けて、県の方針・取組を決めていき、関係者と連携を図っていかねばならない。また、これから更に、関係者へ理念等の周知徹底が不可欠となる。
- ①各関係団体の周知状況等の現状について
- ②各関係団体への周知に関して県ができること（いつ・どこで・何を・どのように）
- ※上記①②について、委員の方々の意見聴取をおこなった

② 「今後の地域クラブ活動における事業スキーム（案）」について

- ・山梨県において、今後更に、地域クラブ活動への移行を推進していくためには、専任コーディネーターがキーパーソンであることを再確認。
- ・各市町村がコーディネーターの配置に苦慮している状況があるので、「各教育事務所との連携・協力体制」「派遣コーディネーターの配置（国中・郡内の2カ所）」を来年度から新たな事業スキームとして提案。

①新たな事業スキーム【案】について

②市町村総括コーディネーターの配置に苦慮している状況を打破するには（適任者の紹介、人材の育成等）

※上記①②について、委員の方々の意見聴取をおこなった

5. 主な発言

① 「国の動向・県の方向性の周知」について

○中学校現場では様々な考えがある。それぞれの校長がこれから部活動をどのようにしていくかを考え、地域と連携していくことを意識して、主体的に行動を起こしていかなければならないと考える。目の前の子供たちのための改革であること、全国的にも進んでいる状況にあることを、もっと周知していただきたい。

○PTA 協議会として、県や市町村からのアンケート等に協力することで、この改革について知る機会になっているので、保護者の方々にこれからも協力をお願いしていきたい。

○「自分の地域がどのようなかたちになるのか」等のイメージがわからないことが、保護者・生徒・先生方にとって不安要素となっている。地域・学校等の様々な場面で「現状と今後」について周知していただけるとありがたい。

○各団体の方々をはじめ、多くの方々がこの部活動改革を自分の言葉で説明できるようになると、良い方向へ進んでいくのではないか。

○周知活動の場を仕組むことが大切。子供たちが地域クラブ活動のようなものに参加し、体験した内容や感想を保護者に伝えることで、保護者や地域の方々への周知に大きくつながっている。

○スポーツ推進委員や指導者が集まる会（研修会等）に、県の関係者を招いて「正しい情報を正しく伝える・伝わる」ことをご教授いただきたい。

○チラシ・リーフレット・映像による周知やホームページ等の SNS による周知は効果的である。スポーツ庁が室伏長官を出しているように、県内の有名な方を活用してこの改革を理解していただくようなメッセージ動画が作れたら良いと思う。

○共通の PR 素材があると、国・県・市町村が共通認識のもとに進められる。

② 「今後の地域クラブ活動における事業スキーム（案）」について

○県内には 4 カ所の教育事務所があるので、できれば 2 カ所ではなく 4 カ所に配置できるとよい。人材や予算の関係もあるが・・・。

○各市町村の専任コーディネーターが、今すぐにでも配置されることが一番良いと思う。しかし、現状は難しい。それでも進めていくために何とかしていかなければいけない。

○群馬県でも 3 名のコーディネーターを配置しているようなので、山梨県でも増員していくことは良いと思う。

- 他県の事例に、平日の指導を含めた指導を担い仕事としている一般企業の協力体制がある。このような体制も重要になってくると思う。
- 文化活動においてもなかなか進まない現状にある。地域展開となっていく中で、文化活動も地域と連携した活動になっていけるようなスキームをお願いしたい。
- 市町村の実情に応じて進めているが、なかなか進んでいない地域を重点地域として、県が支援しながら進めていくことも重要であるのでは。

【R6 第2回推進連絡会を終えて】

- 12月におこなわれる第3回市町村担当者会において、国の動向や取組、県の動向や取組を正確に伝え、各市町村が正しい理解のもと推進していくように進めていく。
- 様々な周知活動を具体化するため、県HPやスポカルやまなしての対応等を踏まえて協議していく。
- 市町村を支援するための県の事業について、様々な課題等に対応できるよう、今後も様々な角度から市町村を支援していく。
- 教育事務所との連携体制、派遣コーディネーター、重点地域の設定など、様々な案が出てきているので、山梨県の実情に応じた取組を精査して進めていく。
- 多くの方に、自分の言葉でこの改革を語ることでできる推進者になっていただけたら、山梨県の「部活動改革」は、子供たちのウェルビーイングを実現するのでは。